

# 令和 8 年度 事業計画

## 1. 基本方針

昨年度を振り返りますと、いわゆる「令和の米騒動」に端を発した食料品価格の高騰をはじめ、燃料費や公共料金の相次ぐ値上げが常態化し、私たちはまさに物価高社会の渦中にありました。令和 8 年度を迎えた今なお、家計や企業経営を取り巻く環境は予断を許さず、市民の日常生活に深刻な影を落とし続けています。

また、帯広におきましては、藤丸、長崎屋、そしてイトーヨーカドーといった大型商業施設の相次ぐ閉店により、地域経済のあり方が大きな転換期を迎えています。空き店舗の活用や中心市街地の再編など、新たなまちづくりの模索が続く中、地域経済の再生と活性化は、喫緊の課題となっています。

現在、わが国の少子高齢化は加速の一途をたどり、超高齢社会としての課題がますます鮮明になっています。こうした激動の社会情勢にあって、シルバー人材センターが掲げる「自主・自立、共働・共助」の基本理念は、その重要性をますます高めています。私たちは、高齢者の安全な就業を確保し、国の定める適正就業ガイドラインを厳格に遵守しながら、働く意欲を持つ高齢者の「受け皿」としての役割を果たしていかなければなりません。

本年度におきましても、会員および役職員は、令和 4 年度に策定した「基本指針（第四次）」の活動方針と目標の実現に向け、会員の増強を最重点課題に据え、就業機会の更なる拡大と安全・適正就業の徹底を図り、引き続き健全かつ活力ある事業運営に取り組んでまいります。

## 事業目標

正会員数	560 人
受注件数	4,900 件
契約金額	166,500 千円

## 2. 事業計画

### (1) 会員の増強

国や地方公共団体、民間事業所等において再雇用や定年延長が進んでいる背景から、新入会員の減少及び高年齢化の傾向が一層強まっています。既存会員の高齢化に伴い、一定数の退会が生じていることから、後継者の育成と円滑な世代交代を推進し、シルバー人材センター事業を継続させるためには、会員の確保が最重点課題となっています。

この課題解決に向け、最も有効な手法である「ロコミ」を活用した「一人一会員獲得」運動を、「smile to smile」や機関誌「生き生き」を活用して、会員・役職員が一体となって取り組みを進めていきます。

新入会員説明会については、当センターでの定例開催に加え、北海道シルバー人材センター連合会と連携した説明会や、高齢者が集まる公共施設等での出張説明会を機動的に実施し、入会機会の拡大を図ります。

また、多様化するニーズに対応するため、女性会員の入会促進を一層強化するとともに、就業を直接の目的としない、会費不要の会員区分を設けます。この制度は、地域社会への貢献を希望する層を幅広く取り込むとともに、活動スタイルの選択肢を広げることで退会抑制を図るものです。

あわせて、日頃から役職員と会員とのコミュニケーションを密に図れる環境を整備し、退会予定の会員に対する面談の実施等を通じて、会員の定着化に努めます。

### (2) 就業率の向上

施設管理や事務補助を希望する会員が多くなっているなど、希望就業内容が変化していることから、新規事業の開拓や就業場所の拡大に努めます。

また、ローテーション就業やワークシェアリングの推進により適正かつ公平な就業機会を確保するとともに、講習会・研修会などを通して就業機会の拡大に努めるほか、広く仕事を紹介する機会を提供するなど未就業会員の解消を図ります。

### (3) 受注の拡大

帯広市や関係機関との連携強化を図り、関係団体主催のイベントにおける周知のほか、チラシや広報紙などを有効活用し、会員・役職員が一体となって受注の拡大に努めていきます。

会員の「一人一就業開拓」運動と一般労働者派遣事業の取り組みを継続していきます。

独自事業は、指導者の確保や後継者の育成に努め、関係機関と連携するなどあらゆる機会をとらえて周知を行い、受講生の確保に努めます。

#### (4) 安全就業対策

安全・適正就業委員会を中心に、発生事故の分析と再発防止策を徹底します。就業前チェックリストの活用、講習会の開催、安全就業だよりの発行、及び安全パトロールの実施を通じ、会員が事故防止に必要な知識・技能を習得できるよう支援します。これにより、会員一人ひとりの自己管理能力を高め、「事故ゼロ」を目指します。

また、職群班会議等を活用し、会員相互の安全意識を高めるとともに、広く安全標語の募集を行うなど、センター全体で安全就業の推進を図ります。

#### (5) 組織の充実

「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員が主体となって組織運営を担い、互いに助け合う体制を推進します。そのために、地区長・班長合同会議、地区懇談会、班内会議及び職群班会議等の内容をより一層充実させ、組織力の強化に努めます。

地域班活動においては、地区長・班長を中心に、担当理事と事務局が一体となって自主的な活動を展開するとともに、地区長・班長の負担軽減に努めます。

あわせて、理事会専門部会や各種委員会の活性化を図り、組織としての機能を高めていきます。

#### (6) 財政基盤の確立

当センターの事業運営は、依然厳しい状況にありますが、関係機関等に対し財政支援の要請等を行うとともに効率的かつ健全な財政運営に努めます。

#### (7) 周知啓発活動の推進

当センターの事業内容や仕組みを市民及び企業等に広く周知するため、ホームページを充実するほか、広報紙の活用を図るとともに、地元 FM 局等のメディア連携を強化します。

また、シルバーフェアや商業施設での啓発活動など、あらゆる機会を通じて会員・役職員が一体となった PR を展開します。

あわせて、会員による動物園内の清掃や交通安全啓発など、地域に根差したボランティア活動を積極的に推進します。これらの活動を通じ、地域社会におけるシルバー事業への理解を深め、さらなる普及を図ります。

#### (8) 各種講習会等の開催

後継者の育成に向けた基礎知識の習得及び技術向上を図るため、会員の提案を積極的に取り入れた魅力ある講習会を開催します。

また、これらの講習会を通じて新規会員の獲得を目指すとともに、既存会員の多様なニーズに応えられるよう内容の充実に努め、就業機会の拡大や就業率の向上を図ります。

(予定)

講 習 会 名		講 習 会 名	
5月	草取り講習会	9～10月	宛名書き講習会（硬筆・毛筆）
5月	草刈・芝刈機講習会	11月	もっと知ろうシルバー研修会
5月	剪定講習会	11月	安全就業講習会

(9) 会報の発行

毎月発行の機関誌「生き生き」や、年2回の広報紙「おびひろシルバー」を通じて、各種事業の案内や最新の就業募集、会員紹介、健康管理のアドバイスなど、多岐にわたる情報を発信するとともに、親しみやすい紙面づくりに努めます。

(10) 福利厚生事業

新年会などの事業を行い、会員相互の親睦と交流を図ります。

(11) 「すずらんの会」の活動

女性会員で構成される「すずらんの会」では、女性の入会促進を目的とした活動のほか、シルバーフェアへの協力やボランティア活動に積極的に取り組みます。

また、会員同士の親睦を深める場として、サロンの開催や食事会などの交流事業を実施することで、女性が生き生きと活動できる環境づくりを目指します。